

令和2年3月17日

保護者各位

名護市立東江幼・小学校
園長・校長 黒 智久
(公印省略)

春休みの有意義な過ごし方について

野山や校庭の木々に若葉が萌え、新緑が美しく輝いています。生命の息吹を感じられる「春休み」は、学年が一つずつ進む喜びで胸膨らむ季節です。子どもたちにとって大きな夢を抱き、進級または進学する希望にあふれる季節でもあります。この大切な春休みをどのように過ごすかによって、四月からの新しい学年の生活が大きく変わります。

子どもたちの健やかな成長を期し、下記の事項、また裏面の資料を参考に各家庭でも話し合い、有意義な春休みが過ごせますようご協力をお願いします。

記

生活面

- (1) 春休み中も、平常通りの規則正しい生活をさせましょう。
- (2) 外出の際は、必ず保護者の許しを得て、行き先、同伴者、用件、帰宅時間をはつきりさせるようにしましょう。
- (3) 午後6時には遊びをやめて帰宅させるようにしましょう。午後6時30分以降の遊びやお使いはさせないようにしましょう。
- (4) 交通事故が多発する時期です。道路での遊び(ブレイブボード、スケートボート)や自転車の二人乗りは絶対させないようにしましょう。
- (5) 見知らぬ人からの誘いには応じないようにさせましょう。(車への誘い、金品の授受)
- (6) 子どもだけで大型店舗へ出入りしないようにさせましょう。(サンエー、ドラッグモリ、イオン等) ※店への迷惑行為防止のため。

学習面

- (1) 今学年の大事なところをもう一度復習しておくと、新学年での学習がスムーズになります。
- (2) 自分の力に合わせて、計画的に学習しましょう。学習する習慣を途切れさせないようにしましょう。

家庭で

- (1) お使いでも、子どもに酒、たばこは買わさないようにしましょう。
- (2) 子どもの年齢相応に、家事などの仕事を分担させましょう。

新型コロナウイルスを防ぐには

新型コロナウイルス感染症とは

発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です。

感染しても軽症であったり、治る例も多いですが、季節性インフルエンザと比べ、重症化するリスクが高いと考えられます。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。

特にご高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性が考えられます。

新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染により感染します。空気感染は起きていないと考えられていますが、閉鎖した空間・近距離での多人数の会話等には注意が必要です。

飛沫感染 感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

接触感染 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

日常生活で気を付けること

まずは手洗いが大切です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性がありますので、咳工チケットを行ってください。

持病がある方、ご高齢の方は、できるだけ人込みの多い場所を避けるなど、より一層注意してください。

発熱等の風邪の症状が見られるときは、学校や会社を休んでください。

発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録してください。